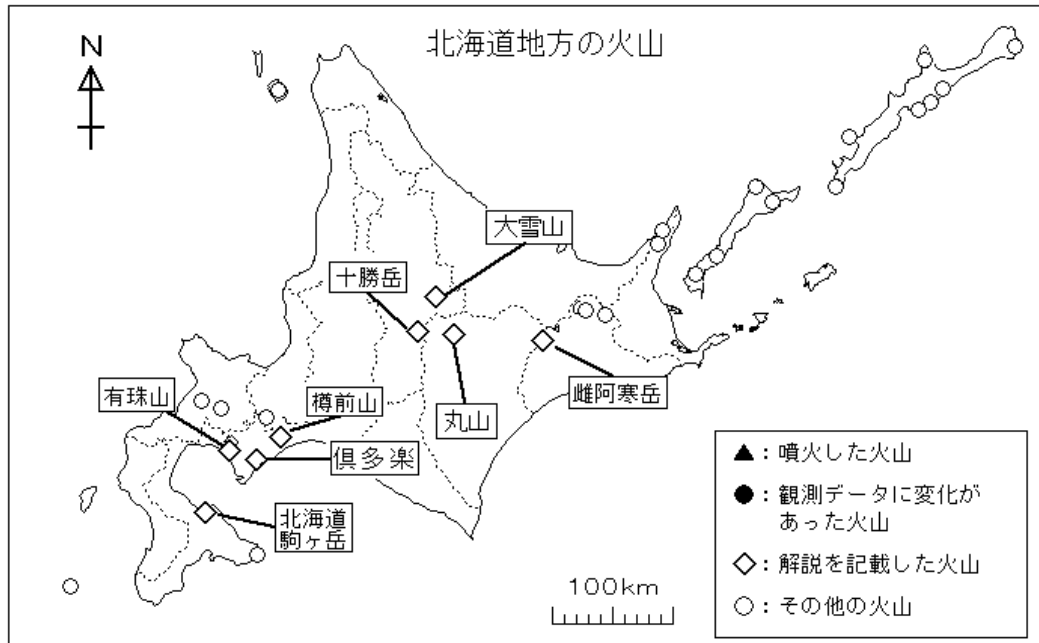


北海道地方の火山活動解説資料(平成 16年 7月)

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳：火山活動はやや活発な状態が続いています。
 ポンマチネシリ 96-1 火口ではこれまで同様高温の状態が続いていると推定されます。
 噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

十勝岳：火山活動はやや活発な状態が続いています。
 62-2 火口の噴煙活動は依然活発な状態で経過しています。4月 19 日以降、振幅の小さな火山性微動や有色噴煙は観測されていませんが、同様な現象は今後も繰り返し発生する可能性があります。

樽前山：火山活動はやや活発な状態が続いています。
 A 火口や B 噴気孔群ではこれまで同様高温の状態が続いています。
 噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

有珠山：火山活動は静穏な状態が続いています。

北海道駒ヶ岳：火山活動に特別な変化はなく、静穏な状態が続いています。
 地殻変動はわずかながら山体膨張の傾向が続いています。昭和 4 年火口ではこれまで同様弱い噴気が見られています。火山性地震は少ない状態が続いています。
 北海道駒ヶ岳では 1996 年から 2000 年までの間に 6 回の小噴火が発生しており、噴火発生の数年前に小噴火を繰り返した 1929 年大噴火や 1942 年中噴火の前の状況と類似しています。

調査観測または上空からの観測を実施したその他の火山(倶多楽、丸山、大雪山)
 倶多楽では調査観測を行いました。丸山、大雪山では北海道開発局の協力を得て上空からの観測を行いました。これらの火山では異常は認められませんでした。

次の火山活動解説資料(平成 16 年 8 月分)は 9 月 7 日に公表します。この資料はホームページでもご覧になることができます(札幌管区气象台 <http://www.sapporo-ima.go.jp> 気象庁 <http://www.ima.go.jp>)